

ご取材のお願い



2018年3月吉日
JOLA運営委員会

アウトドアで“未来の日本のための人づくり” 「JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2018」 大賞 & 特別賞は表彰式当日(2018年4月12日)に発表

JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2018(以下、JOLA 2018) について

山や川や海や田畑や森林など多様なアウトドアのフィールドで、より良い未来を支える子ども達を育むリーダーの功績をたたえ表彰するアワードです。これにより、“アウトドアでの学び”がより身近になり裾野が広がっていくことを目的としています。日本各地から応募された77名のリーダーを審査した結果、ファイナリスト8名を決定しております。大賞及び特別賞は4月12日の表彰式の中で発表されます。

今回選ばれているファイナリストは、主に北海道・関東・山梨・静岡・岐阜・熊本・沖縄の山・川・海・里・都市部などにおいて様々な視点で人づくりに励む活動されている方々です。各地で意義深い取り組みをされているファイナリストの皆さんが集結します。



JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD (JOLA) 運営委員会の紹介

アウトドアでの「未来のための人づくり」を応援したいと想う各地で活動する10名の運営委員により構成されています。2014年にJOLA運営委員会を立ち上げ、スペシャルアドバイザーや選考委員の皆様方の応援や多くの企業のご支援を賜りながら運営をしております。

JOLA 2018 表彰式 開催概要

主催: JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD運営委員会
後援: 農林水産省、国土交通省、環境省、一般財団法人全国山の日協議会、一般社団法人日本環境教育学会、日本野外教育学会
協賛:



サポーター: ARC'TERYX、好日山荘、mont-bell、パタゴニア日本支社、SATOMACHI、秀岳荘、Snow Peak、UTSun,inc
日時: 2018年4月12日(木)
会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 国際会議室
住所: 東京都渋谷区代々木神園町3-1

TIME(予定) 進行内容

15時00分 メディア受付(スチール・ムービー先着順)

15時30分 表彰式開始

ファイナリスト紹介 大賞・特別賞の発表 受賞者コメント 選考委員コメント

集合写真

17時30分 終了予定

18時00分 別会場にてレセプションパーティー

※ご要望に応じてプレス向け撮影会も実施いたします。

<申し込み問合せ窓口> JOLA運営委員会 (<http://jola-award.jp>)

address: 渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内 NPO法人自然体験活動推進協議会

tel: 090-3918-1211 mail: jola@cone.jp 担当: 和田徳之(株式会社和大地)

FAX返信用紙 FAX 03-6407-8241

JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2018 表彰式

お申し込みはメールまたはFAXにてお願いいたします。

MAIL: jola@cone.jp 担当:和田

メールでお申し込みの方は下記項目を本文にご記載ください。

各項目ご記入の程宜しくお願いいたします。

貴社名			
媒体名・番組名			
氏名	様 参加人数()人		
カメラ	<input type="checkbox"/> スチール <input type="checkbox"/> ムービー <input type="checkbox"/> カメラなし		
電話番号		FAX番号	
メールアドレス			
囲み取材	大賞・特別賞・優秀賞 受賞者 <input type="checkbox"/> 希望 <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> その他希望()		

撮影席のご用意のお申し込みは2018年4月9日(月)
23時までをお願いいたします。

※前日や直前までご来場いただけるかわからないという場合も、その旨ご一報頂けましたら対応させていただきたく思います。

<申し込み問合せ窓口> JOLA運営委員会 (<http://jola-award.jp>)

adress: 渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内 NPO法人自然体験活動推進協議会
tel: 090-3918-1211 mail: jola@cone.jp 担当: 和田徳之(株式会社和大地)

JOLA 2018 ファイナリストのご紹介 ※五十音順



浅井 智子

名古屋国立保育短期大学卒業後、公立保育園の保育士として勤める。その後、我が子を愛知県春日井市の森のようちえんで育てながら、スタッフとして関わる。その経験をもとに、多治見市にて岐阜県初森のようちえん『自然育児 森のわらべ多治見園』を立ち上げる。森のようちえん全国ネットワークの初代運営委員を務めながら、森のようちえんの普及活動を全国で展開。2016年には、『母と子の幸せ応援団～ひなたぼっこ～』を立ち上げ、自然育児＆勇気づけ子育てを提唱中。

森のわらべ多治見園 園長
母と子の幸せ応援団～ひなたぼっこ～代表

主な活動
エリア
岐阜県
多治見



大津 愛梨

1974年ドイツ生まれ、東京育ち。慶応大学環境情報学部を卒業した後、熊本出身の夫と結婚し、共にミュンヘン工科大学(ドイツ)に留学して、修士課程を修了。2003年から夫の郷里である南阿蘇で就農し、無農薬米などの栽培に取り組む。2014年にNPO法人田舎のヒロインズ理事長に就任。農業、農村の新しい価値について発信や活動を続けている4児の母。

・『日経ウーマン』の「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2008 リーダー部門」受賞
・『オーライニッポン』『ライフスタイル賞』を受賞(2009年)。
・FAO(国連食糧農業機関)アジア地域事務所より「模範農業者賞」を受賞(2017年)

O2Farm共同代表
NPO法人田舎のヒロインズ理事長

主な活動
エリア
熊本県
阿蘇



小倉 宏樹

1972年生まれ。神戸市出身。少年期のボーイスカウトが野外教育の出発点。東京大学法学部在学時は国際政治に興味を持つが、子どもキャンプのリーダー経験をきっかけに、教育が社会をより良くしていくとの想いを強く持つ。沖縄のNPO法人で研修生をしながら環境教育の手法や組織マネジメントを学んだ後、2004年よみたん自然学校を開校。日常の体験に意味があると赤瓦の古民家を学び舎に、3年保育「幼児の学校」、フリースクール「小学部」の平日学校事業を主軸に、週末イベント&長期休暇キャンプ事業、「ちんすこうづくり体験」の観光事業を行う。

よみたん自然学校 代表

主な活動
エリア
沖縄県
読谷村



小林 政文

1978年静岡県富士宮市生まれ。2005年からホールアース自然学校へ。2005年9月からがじゅまる自然学校で活動。名護市内・真喜屋地域での自然体験・環境教育・環境保全の実践を大切にしなが、主に沖縄県内・離島各地にて、プロデューサーやファンリレーターとして持続可能な地域づくりや人材育成、体験観光プログラム開発に関わる。沖縄県内の自治体・関係団体・異業種の活動にも積極的にに関わり、社会貢献を目指している。

ホールアース自然学校沖縄校がじゅまる自然学校 代表
一般社団法人沖縄体験観光協会会長
NPO法人沖縄県カヤック・カヌー協会理事
NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会企画検討委員及び特別研究員

主な活動
エリア
沖縄県
名護市

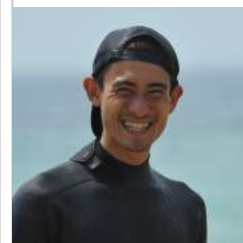


中田 無双

1967年東京生まれ。2002年4月にターンとして都会と山村の両方の目(価値観)を持つ技能職員として山梨県の北都留森林組合へ就職。指導係として森林経営計画策定、測量、森林・林業体験教室事務局など歴任し、現在は森林組合経営責任者の参事として経営理念『森を中心とした持続可能な流域循環型社会の実現』と全従業員のもの心両面の幸福を追求すると同時に組合員、山村地域社会の進歩発展に貢献できる森林組合経営を目指している。

北都留森林組合参事
森林インストラクター
NPO多摩源流こすげ副代表理事

主な活動
エリア
山梨県



堀 直也

1977年生まれ。神奈川県横須賀市出身。5人家族(8・6・4歳の子供)の父親。東海大学海洋学部卒業。2011年に神奈川県藤沢市から伊豆半島最南端の南伊豆町へ家族で移住し、数々の自然体験を展開。東京都杉並区の小学生を対象に年間約4,000名の移動教室のチーフガイド、母校である東海大学海洋学部環境社会学科の「海の環境教育実習」の特別講師も務める(※2011～2016年の5年間)。また、海をキレイにするビーチグラスの地域通貨”ビーチマナー”の事務局長も10年以上兼務。

エコサフアー代表

主な活動
エリア
静岡



三森 典彰

「僕が一番活きる活動の場ってどこなんだ?という自身への問いに、都会っ子でありながら自然環境の保全や再生のプロを目指した自分が一番説得力を持つのは、都会の自然環境の保全・再生とそれらを活かした都会の人向けの環境教育や体験学習だ!」と思い立つ。現在は(株)BiotopGuildの代表として、“ビオトープ”という概念を用いながら、主に都市部の自然環境にまつわる仕事に従事。自然に興味がない人にも日常の中で楽しみながら自然や生きもの目に向けてもらえる仕掛けづくりをモットーとしている。

(株)BiotopGuild代表取締役
Forestthree代表
東京環境工科大学非常勤講師

主な活動
エリア
関東



吉元 美穂

様々な野生動物の息吹を感じられる森、透き通りブルーにかがやく清流、市街地からアクセスがよい自然の入り口に位置したくつろげる拠点。数多くの方々が自然を存分に満喫し、人と人との交流が生まれる。私が所属するモモンガくらぶは、0歳児からアクティブシニアまで誰もが参加できる場をつくり、また利用する側だけでなく提供する側としても活躍できる場を用意しています。ひとつの取り組みは、日々の活動の中でいつもいつとも発生するような仕掛けがあります。体験を通じた気づき、人との関わり合いの中で生じる気づき、その瞬間に立ち会わせてもらっているのが私の仕事です。

NPO法人登別自然活動支援組織
モモンガくらぶ 事務局長

主な活動
エリア
北海道

JOLAへの応援メッセージ



スペシャルアドバイザー

上遠 恵子 氏 : エッセイスト / レイチェル・カーソン日本協会会長

子どもたちが自然のなかで、豊かで強靱な感性と体力を育むためには、感動を共にしてくれる頼りになる指導者が必要です。この地味な役割を、大きな夢を抱いて担っているリーダーの皆さんに心からのエールをおくります。そして、栄えあるJOLAをゲットしてください。



スペシャルアドバイザー

国井 雅比古 氏 : NPO法人日本トレッキング協会 会長 / 元NHKアナウンサー

第一回のJOLA2017の表彰では実に多様なアウトドアリーダーたちの姿があった。自然に触れ、自然を楽しむことは勿論、環境の保護・育成、地域社会の活性化、将来の起業やビジネスの場……。こうした一種の混沌の中からこれからの「自然と私たちの向き合い方」が見えてくるのではないかと？



スペシャルアドバイザー

速水 亨 氏 : 速水林業 代表

自然は豊かな時間と心を与えてくれます。しかし自然は我々が気を抜けば牙をむきます。その為にも優秀なリーダーが育つことが大事だと考えます。JOLAの活動を通して全国のリーダー不足の方々と広く紹介していただくことが大事だと思います。



スペシャルアドバイザー

三浦 雄一郎 氏 : 冒険家

大自然は人に生きる力と夢を育む力を与えてくれる。JOLAはその素晴らしさ、自然との共生を子供たちに伝えるく気が優しくて力持ち。なスペシャリストを探し、彼や彼女たちのさらなる活躍の場を広げることを目指します。



選考委員長

星野 敏男 氏 : 明治大学経営学部教授 / 日本野外教育学会理事長

変化が激しい現在、各地の現場で地域とそこに暮らす人たちと直に関わりつつ、未来の日本を動かす子どもたちに体験を提供し人づくりに励む人たちの存在が、とても大きな意味を持っています。JOLAは、彼らを世に広く紹介する素晴らしい活動だと大いに期待しています。



選考委員

佐藤 初雄 氏 : 自然体験活動推進協議会 代表理事

アウトドア(自然)の中での活動は現代人にとってなくてはならないことでしょう。なぜなら、人間そのものが自然の一部だからです。そして、私たち人類そのものが自然なのです。その自然の中へ誘う指導者(リーダー)は欠かすことのできない存在です。そうしたリーダーを表彰するこのJOLAはとても素晴らしいものだと思います。その表彰を通じて、より多くの人々をアウトドアへ誘い、自然とともに生きていることを実感する人をたくさん育てていただけることを期待しています。



選考委員

曾根原 久司 氏 : NPO法人えがおつなげて 代表理事

私は、日本の田舎の資源は宝だと思っています。世界で有数の森林率を誇る森林。40万haの耕作放棄地。四季折々の美しい農村の自然景観等々。ただ、これらの資源が有効に活用されていません。この宝を有効に活用するような活動を応援します。



選考委員

高野 孝子 氏 : NPO法人エコプラス 代表理事 / 早稲田大学 教授 / 立教大学客員 教授

社会が急激に変化を続け、未来が見えにくい今だからこそ、自然と人の関係を意識化し、その本質に気づききっかけ作りが大切です。それにスポットライトを当てるJOLA、応援しています。



選考委員

竹内 洋岳 氏 : プロ登山家 / 立正大学 客員教授 / ICI石井スポーツ所属

私は、日本のアウトドア活動を行うリーダーたちには、野外教育と野外教育を発展させていだけの環境と力があると考えています。野外教育とは、厳しい自然の中でいかに生き延びられるか、また、その知恵を次の世代に受け渡していくこと。リーダーによって野外教育に生きるプロフェッショナルが多く生まれ、彼らの知恵が次の世代に受け渡され、日本人、そして人類が地球上に生き延びていく。JOLAはそのきっかけとなって欲しいと思っています。

＜お申し込み問合せ窓口＞ JOLA運営委員会 (<http://iola-award.jp>)
 adress: 渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内 NPO法人自然体験活動推進協議会
 tel: 090-3918-1211 mail: jola@cone.jp 担当: 和田徳之(株式会社和大地)